

V. 部品流用問題

1. 噴射システムのベーパーライザ

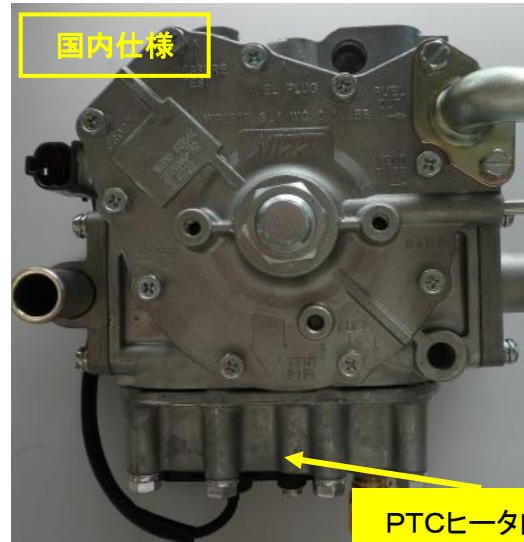
噴射システムのベーパーライザにはPTCヒータが内蔵されています。これは冷却水が温まっていない冷間時にPTCヒータにより燃料を気化させています。
しかし、北米向けのベーパーライザはPTCヒータはありません。これは北米のLPガスがブタン成分を含まない100%プロパンのためです。

下記事例は、どのようなルートで入手したのかわかりませんが、返却して頂いたベーパーライザが北米向けでした。この場合は、低温始動性が悪化してしまいます。

なお、弊社のリビルト品はPTCヒータを分解し検査していますが、未検査のリビルト品にも注意して下さい。また、弊社の自動車向けの噴射ベーパーライザもPTCヒータがありません。これは低温始動時はLPGポンプの気相で始動し暖機後、液相に切り替えるシステムになっているからです。従って、自動車向けのベーパーライザの流用も厳禁です。



PTCヒータなし



PTCヒータ内蔵

2. 他社品の流用や修繕

下記事例はCNG用のベーパーライザですが、他社部品を流用したり、修理してのご使用は大変危険です。また社外品の使用も、短期間で劣化する場合がありますので注意して下さい。

他社品を接着剤で固定



破損品を点付け溶接で補修

